

水源禪師法話集 4 7

(2015年9月22日 京都合宿5日目)

2016年8月19日

一乗禪の会



目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 質疑応答..... | 1 |
| どうすれば先祖、親に本当の供養が出来るか？..... | 1 |
| 死んだら墓を作らず、灰を撒く..... | 6 |
| 水源禅師の「水源」と言う名前の由来..... | 6 |
| 宇宙の外はどうなっているのか？..... | 7 |
| 仏教徒に限らずお釈迦様の時代からずっと彫り続けている仏像..... | 8 |
| 何故お釈迦様は家族を捨てて行ったのか？..... | 9 |
| 仏縁..... | 11 |
| お釈迦様とスジャータの乳粥の因縁..... | 13 |
| 全宇宙と一体化した時に初めて「宇宙は慈悲そのもの」と体得できる..... | 14 |
| 法を掴めば国のカルマも変えることが出来る..... | 14 |
| 私達は内側の夢と外側の夢の中で生きている..... | 17 |
| 夢の中でもカルマに発展する..... | 20 |

質疑応答

【水源師】

時間が経つのは早くて朝6時からもう真っ暗。と言う風に凄く充実した時間を貰ってありがとうございます。いやー、ま、今日もリクエスト形式で行きますか？

どうすれば先祖、親に本当の供養が出来るか？

【参加者】

例えばの話なのですが、親残してくれた財産があってそれを善行で使った場合、亡くなった親に供養というか回向出来るのですか？

【水源師】

もちろん出来ます。そのお金で戦争に使う武器弾薬を買ってそれを何処かの国に送ればそれは逆の事になります。良い事をしたいと皆さん願うのだけど、殆どもう落とし穴で詐欺、詐欺、詐欺で表だけは「何々財団で貧しい子供を助けるNGO」とか言うのだけでも。

この事を話した事あるかな？アメリカのハーバード大学を卒業してインドの慈善事業のNGOの女性だけど、会長をしているわけですね。そして、一晩20万円か30万円のホテルに泊まるのだから。と言う事は、皆さんからお金を集めて、結局日本の官僚級も一緒だけど、外国に行けば一晩20万30万の部屋に泊まらなきゃ箔が付かないわけですね。「何でそんなに高い所に泊まるの？」と。私がそのアメリカ人の法律科の大学生と討論している時に、その人曰く「私はハーバード大学を出ているからそれだけのホテルに泊まる権利がある」と。「それは違うでしょう？」と。「やっぱり慈善事業で人から集めたお金を貧しい子に渡さなくてはいけない、じゃないですか？」と。その時はインドでは大人が一日働いて稼ぐお金が1ドルくらいだったから、すごい散財だと思いました。私の場合はバックパッカーで、バスで行くから、特にそう思ったような気がします。大人の仕事と言っても畳半畳くらいのスペースの小屋が道路脇に遠くまでずーと並んでいるわけです。その小屋でタバコを売っているわけです。朝の2時3時にバスが止まるでしょう？10歳か8歳の男の子がターッと来て、お客さんを世話する為に食堂の食器を片付けたりして、タタタッとやっているわけですよ。だからそういう子を学校にやらせてとかそういう名目だけでも、一晩30万円と言ったら一日に対して何千人もの所得でしょう？子供を1カ月学校にやるのに大体40円か60円いるのだけど、普通はそのお金もないわけです。だからそれで学校にも行かせられないわけ。殆ど慈善事業と言うけど、90%以上は事務費に使う話を聞いた事がありますよ。だから信じてお金をやるけど、それをパーティに使って殆ど必要な所へ行っていないか

ったとか。そういう時には親に供養をしてやっただと。良い事をして気持ちが良いのだけれども、実際使われていなかったら、現実問題として親は供養されていないわけですね。ですから素晴らしい慈善事業の団体への寄付は、見つけるのがとても難しいことです。

だからこう言っていますよ。マレーシアのクアラルンプールにはマハビィハーラというお寺があってね、そこはでっかいお寺で子供に財産を譲るよりは、こういうお寺に寄付して寺を大きくした方が良いと言って、そこにはスリランカ系の真面目なお坊さんと呼んでやっているわけです。殆ど中国系の方だけれども一生懸命南伝の教えに帰依して、御寺にに来てお祈りして、必ず夕方はお坊さんが5人か6人で供養の、チャレンジングを皆さんでするわけです。そのお堂はちゃんと先祖供養の名前があって、皆見ているから「今日は誰々の供養日」とそれで安心しているわけ。嘘偽りなくしておりました。

そういう風な所があれば良いけれども、現実的に非常に段々少なくなっているわけです。今スリランカでも三万人くらいしかお坊さんがいなくてお寺を維持していけないわけです。お坊さんを辞めていくようです。ワサ私は今年で9年、来年で10年になりますけど、ワサ6年とやれば相当な高德をしていると言われていています。この衣を着けて世に出て暮らせば凄い高德なわけで、来年ワサ10年と言ったら殆どいなくなっちゃう。と言うのは、それだけ難しいわけです。社会でスリランカ、ミャンマー、タイ、カンボジア、そういう南伝でやるには227の戒をきっちり守らなきゃいけないでしょう？だから私の先生が私がどうせやめるのをストップさせる為に、三つの戒だけくれて「お前はこれだけで良い」と。何故かと言ったら、カナダで277の戒を守ると言うのは実際不可能なわけです。だから私の先生はちゃんと見越して「お前は三つの戒をやれば十分。それで行きなさい」と。そういう風に偉い先生は見てくれるわけです。そういう認可も与えてくれるわけです。私が勝手にやったらこれは大変な事だけど、先生から貰っているから安心感があって、そこにどっぷりつかっています。

それで私の場合はそういう風な偉いお坊さんから非常に大事にされてとても恐縮しますね。3200人いるNatural monasteryと言う私よりワサー一つ上のお坊さんが300人のお坊さんを控えて「説法をして下さい」と。今教えているヴェーダナーヌパッサナー（受随観）をお願いされましたが、時間がなくて、たった一人だけに3日で全部習得してくれました。この人はもうダンマヌパッサナー（法随観）を習得して30年以上修行しておられる方でした。という風にミャンマーでも、もう死に絶えた法が返り咲いたわけです。カーヤヌパッサナー（身随観）、ダンマヌパッサナーは依然としてあったけど、ヴェーダナーヌパッサナーは全部伝わっていないわけでした。

また日本では私は完全に伝わっていると思ったわけでしたが、今見たら大事な所が伝わっていなかったのですね。それで幾らやっても無理があるわけで、法を学ぶことがとても難しいのですね。だから何でもありになるわけです。何でもありになれば先祖供養したつもりで供養は全然していないと、恐ろしい結果になっているわけです。だから私が日本で一番嫌な所は墓所なのです。墓場のそばを歩けば頭がガンガン痛く

なる。「供養して下さい」と言う事なのでしょうか。

【参加者】

ここも向こうに霊園がありますね。

【水源師】

そうそう。供養されていないから凄い悪いエネルギーを感じます。幾らお金出して形をやっても供養するお坊さんが法を持たないで、ただお経を唱えても、テープレコーダーをやっているものと一緒の事のような気がします。

前に一回お話したと思いますが、1800年代に沢山のインディアンが殺戮されて、オンタリオのミッドランドという所の土地のインディアンが。ずーっと川に幽霊になっていたという話を聞いたでしょう？その川の前にはクリスチャンの教会があるわけですが、夜な夜な高校の先生に取り憑いて「助けてくれー、助けてくれー」と寝られないと言っていました。私がそのところを訪ねた時に、「私寝られないからどうしても助けてください」とお願いに来るものだから、ちょうど瞑想を教えに行く時でした。それで仕方がないから、拝む時にインディアンの血縁者が必要なわけです。たまたまケベックからチェロキー系の方が来ていてね、チェロキーの子孫が、末裔が。それと私の法要で、文字ではなく、何が必要か？どういう風にやれば良いか？それから霊能者が4人位いたから見張らせて、「あっちこっち観なさい」と。取り憑かれたら大変だからです。それでずーっとやったらその川の霊たちが全部出られたようです。チェロキーのその人の先祖だから「酋長のこういうのが立って、出て行ったよ」と。だから法を持てば仏教であろうがクリスチャンであろうがインカであろうが無事に供養を出来るようです。

この話もしたかな？ナスカライン、有名な所あるでしょう？その傍にナスカピラミッドがあるのですよ。その昔四千年前の遺跡のピラミッド。そこを考古学者が崩して遺跡を研究しているのですが。そこで瞑想をしていたら、ちょうど幽霊みたいなのが「出してくれ」と言うわけです。天界に行きたいから。それで私がお祈りしてやったらね、サーッと天界に上がって行ったようです。

だから供養をするという事は非常に大切です。それも何故そんなに大切かと言ったらね、お釈迦様が道を歩いていたら、突然その道でその塚に対して頭を下げるわけです。「お釈迦様、一体どうして頭を下げるのですか？あなたはもう世界最高の尊い方なのに何でこういう塚に頭を下げるのですか？」と。そう言ったらね、アーナンダか誰か中国語の経典だからちょっと忘れたけども、そしたら「これこれ、この墓は私のおばあさんの骨が埋まっている塚である」と。「何故頭を下げるか分かるか？」と。「お母さんはお腹を大きくして、9ヶ月10ヶ月血をわけて生んでくれたでしょう？」と。「それで私があるのですよ」と。「そのお母さんのお母さんもお腹を大きくして大きくして貰った。どれだけの高德を私にくれたでしょう？」と。「今ここにあるのは、このおばあさんの血縁があってこそ私があるから、この骨のある塚に対して私は頭を下げます」

と。お釈迦様でもそうするわけですよ。そしてね、「ナモブツダ」と言うでしょう？帰命。何で帰命と言うか分かりますか？命に帰ると言うでしょう？「ナモ、ナモブツダ」と言うでしょう？それはネパール郊外にナモブツダという塚があります。

この話も前にちょっとしたかな？つまりお釈迦様が仏陀になる二つ前の菩薩行をする時に、5匹の生まれたトラがいてお母さんのミルクが出ないわけです。それで第三王子のゴータマブツダが自分の手を出して、そのお母さんに食べさせようとしたわけ。それでも食べないわけですね。その枝を取って血を流してとうとう食べて貰ったわけ。何故そうしたかと言ったら、上の二人のお兄さんが「このトラの赤ちゃんが今死にそうで可愛そうだ」と。「どうしたら良いのか？」とゴータマブツダが聞いたら、この二人のお兄さんは「今獲物を食べさせれば生かせるけど、今はないからそのまま死ぬでしょう」と。「じゃあ誰かこの世でその代わりに自分の命を与えて、この5匹のトラを生かしたらどうだろうか？」と。二人のお兄さんは「この世でそう言う事をする人は一人もいない」と言う話で帰って行ったわけ。その後、ゴータマブツダが「お兄さんちょっと行って下さい。私は用事がある」と言って自分の体を母トラに食べさせたわけです。法を持って来る為にそれが最後のこの地上の関門だったわけです。その後天界に行ったわけです。その後お兄さんが帰って来て、ゴータマブツダが全部トラに食べられて死んだ、その報告をお母さんに言ったらお母さんはもう気が狂う様になったわけです。そしたらゴータマブツダが天界から「お母さん心配しないでください、私は天界にいるから心配しないで下さい」と。そのゴータマブツダが今度は天界からマヤ王妃のお腹にお入りになり、「天上天下唯我独尊」と言って仏になる子として生まれて来たでしょう？そして1200人の比丘・比丘尼・阿羅漢を連れて、テクテクとナモブツダに行ったわけ。それだから「ナモ」「帰命」自分の命に帰りますと。そのお墓はお母さんが骨を拾って埋めた墓だと言われています。今でもネパールにあります。ナモブツダ。不思議なことでしょう、自分の骨に向かってお参りに行くわけです。その話は六千何百年前の話だと言われている。そんなに遠くない話なのです。だから自分の骨にでも供養しに行くわけですね。その場所に帰りに行って。ましてや自分の命を生んでくれて大事に育ててくれたご両親はとても大切な事であるし、そのおばあさんに対してもお釈迦様は頭を下げると。

命の尊さと言うのは、お釈迦様は皆さんがお釈迦様みたいに法を持てるこの肉体を持っていると言う、それを実現させる為に非常な苦難を業へて沢山の、沢山の苦難をへて持って来たわけですよ。それはもう涙が幾ら出ても止まらないくらいの苦勞をしてカーヤヌパッサナー、ヴェーダナーヌパッサナー、チッタヌパッサナー、ダンマヌパッサナー、この四つだけが究極の教えを私達に残して下さいました。八万四千の法門の中でこの四つ。これだけで涅槃に行けるとおっしゃて、おられます。

と言う事で今回うまくいけば、この日本にヴェーダナーヌパッサナーの法灯を立てられると。凄い事なのですよ。もうヴェーダナーヌパッサナーが絶える寸前だったわけでしたが。それが奇跡的に私がスリランカに行った時に、素晴らしいお坊さんが「どうしてもこのゴエンカの法を体験してくれ」と。「これは凄いものだから」と。「いや私

はもういらぬよ。ちゃんとダンマヌパッサナーやっているからしたくない」って。「いや、私の命を与えるからこれだけはやってくれ！」と。「私の命を与えてもよいから、この10日間やってくれ！」と。それでそこまで言われるから仕方なく行って、こう座っていたら何とお坊さんがスーッと出て来られました。壁に貼ってある写真を観たらそれがレディーセヤド様だったわけです。だからスーッと修行が出来たようです。私に指導してくれました先生がびっくりして「すぐゴエンカさんに会ってくれ」って言うけど、ゴエンカさんに会ったって教団には先生もいっぱいおられますので遠慮いたしました。意味はやっぱりヴェーダヌパッサナーの法を受け取ることだと思えます。一人植えれば必ずやまた必ず一人二人と繋がるようです。

供養の話でこうなって、供養と言うのはあなたが法を得たら、墓を作るとか御殿を作るみたいなものじゃないですよ。法を受け取る事が凄い供養なのです。何故かと言ったらもしあなたがこれをちゃんと受け取ってくれたら、他の人にも分けられるでしょう？宇宙最高の涅槃に行ける方法ですよ。これだけで本当に行けますよ。「涅槃にいける道がありますよ」とお釈迦様が「この四つだけしか涅槃に行ける道はない」と明快に言っています。サティパッターナ（念処経、四念処経）。全くその通り。私はずーっと法門やってみたら全て四つは通じています。未だにこれ以外の法門で涅槃に行けるという法は見た事がないです。そういう経典もないし手法も聞いた事がない。ただ一つチベットにあるのですよ。これは嘘か真か、天女がいて天女に抱きつけば涅槃に行けると（笑）。あるラマがラサを歩いていたら綺麗な女の人が歩いて行くと。それでワーンと行って抱きついたらバーンと怒られて殴られたという（笑）。そういう話もあります。

だから供養で善行をすると言うのは、今回私が出来れば一心塚というのを作りたいと。昨年計画があって、そこは一人で亡くなったりとか、家族に見捨てられたりとか何かあって死んで。でも同じ人間でしょう？そういう人達はお金もないわけです。だから一心塚を建ててくれたら、私が供養しますと。そういう事で昨年Gさんをお願いしているわけです。またKご夫妻も快く協力して下さい、ただどういふふうに進捗させるか分からないけど。そして私の同級生にも「お前な、金だけ儲けても仕方ないので、石一つでもお前供養しろ」って。「その方がよっぽど良いよ」って。と言う所に現実として石一つでもお供えすれば千円、二千元、五千元でも、そっちの方がよっぽど供養になりますよと。いくら立派な一千万円のお墓を作るよりは、たった二、三千元の石一つ供養した方がよほど供養になります。何故かと言ったら沢山の不幸な人を浮かばせてあげるからです。これでどうでしょうか？協力して下さいね。大きいお金ではなく、小さいお金で結構。ま、そう言う事で五百円でも千円でもそういう所にお布施した方が、一千万以上の自分のお墓を作るよりはうんと供養になります。もちろん自分で作って良いですよ。プラスそれに百円、二百円足してやればもっと良いという事（笑）。

死んだら墓を作らず、灰を撒く

【参加者】

自分のお墓って要らないって思っているのですが、それはどうなのでしょう？

【水源師】

私もそう思っているのですよ。それで私が死んだら山にでも何処でも捨ててくれと。全身供養とかってもう揉む必要もないし。そしたら「いやーそれは出来ない！」って言うから、私が死んだ後だからどうなるか分かりません（笑）。だからインドの女性の首相のガンディ首相さんが、やっぱり空から灰を撒いて。「私はインドにまた生まれ変わりたい」と。中国の副主席ダオショーペン（小澄平）という人偉大なる政治家で、この方が現代の今の中国を作った人でしょう？経済発展させて。この人も不思議と自分の骨を川に流したのです。奥さんに任せて「灰を川に流してくれ、墓は作らないでくれ」と。よくよく四川省にある成都とチョンローって言って、そこに文殊菩薩のお寺があってよくそこにお参りに行ったらしいです。文殊菩薩のお寺だけれどもそこの中には観音様の奇跡「32の奇跡」とか言ってね、書いているのですよ。観音様のお話ちょっとしましたかね？観音様は実は存在して、中国では非常に観音信仰が強くて観音様は阿弥陀様を掲げておられますから、今でも全国「アミターバ、アミターバ、アミターバ」と言っていますね。何でもアミダブ。チベット仏教もアミダブになっています。今日はあんまり話が飛ばなくて良いでしょう（笑）。

水源禪師の「水源」と言う名前の由来

【参加者】

子供からのリクエストで二つ質問があります。水源先生の「水源」というお名前は何故水源なのか？と言う事と、宇宙の外側はどうなっているか？と言う事を聞いて来てくれと言われて。

【水源師】

水源の名は、私が人間から貰った名前じゃないのですよ。天界から貰った名前なのです。私よく言ったでしょう？聖書に出て来る神様はヨギの服を着てお爺ちゃんだと。一回一回顔は変わるけど、同じなのですよ。同じ方です。密教では火天と言います。火天神だけがお爺ちゃんの神で、あとは全部普通の綺麗な人とか若い人ばかりです。その火天神はね、三角で表すのですよ。火天神の三角がなければ全ての行が始まらないわけです。全てこの火天神から始まるわけ。何故三角かと言ったら、実はピラミッドの三角。平面の三角、立体の三角。だからボロブドゥールの作りはピラミッドでしょう？三角。その中の壁画に明快にお釈迦様が説法をして悟りを開く時に「三角」があるのです。幾ら本を読んでも分からないでしょう？だからこう言う風に見事に繋がって

いるわけです。ネパールでは一番聖なる山はアナプルーナと言います。アナプルーナね？

【参加者】

はい。

【水源師】

私はアナプルーナのヒマラヤを1カ月かけて登山道を歩きました。そして最後の5800mの山を越えて高い町の所に神社があるのですよ。ジョータン？とか名前を忘れました。ネパールではとても有名な街です。平地からずーっと上がって行って、山を越えてその山の下にヒンズーのお寺があるのですよ。

【参加者】

仏教の。

【水源師】

仏教。そうそう。山越えてその御寺へ上がった時に、夢の中にまたお爺さんの神が出て来てその神の前で一生懸命答案を書かなければいけないわけです。そしたら「水源」と漢字で書くわけ。「水源」と。それから私の名前が「水源」となっているわけ。仏名はボディパンニャ・グニカだけども。それから私は水源と。印玄先生に「その名前は誰から貰ったのか？」と。「いや、実は天界の神から貰いました」と。「そうか、宜しい」と。実態は凄いですよ。私の住んでいるオンタリオの意味は、「美しい湖、水源」なのです。昨年ビルカバンバに行ったら、アメリカの富豪が「世界で最も美しい水源で純粋な水源をあなたに差し上げます」と。「アマゾンの水源です」と。「これ以上の素晴らしい水はないのです」と。その水源地の土地が500町歩あると言っていました。「使ってください」と言わけです。で、私の瞑想センターも湖水にあります。カナダは世界の70%の真水があるわけです。だから天界は不可思議に名前を付けるわけです。でも私の中で見事なように繋がっているわけです。それでどうでしょうか？何か分かった様な、分からない様な。あまりにも壮大な話で。

宇宙の外はどうなっているのか？

もう一つ、宇宙の外はどうなっているか？と。宇宙の外はまた宇宙の外に卵みたいなものになってウワッと繋がっているのだけども、宇宙の中にまた宇宙があるわけ。五次元の世界だから、小さい一粒の米の中にも大宇宙が入るわけ。と言う風に非常に複雑怪奇になっているから、皆「外、外」と言うのだけどもこの宇宙自体がブラックホールの中だから、宇宙の外は見えないわけ。光がまた戻って来るから。光が突き抜けない。ところがニミッタの光ではそれも突き抜けて観て行くわけです。遮るものが一つ

もなし。また十万億土という想像を絶する宇宙帯も五次元の世界から観たら、結局この手の中にスポッと入るからすぐ行っちゃうわけ。それがループと言うかスペース帯のループと言って、端から端まで光の速さで行けば、こう行かなきゃいけないでしょう？ループだったら、こうしたら（一枚の紙の端と端を合わせる）一瞬にして繋ぐでしょう？こういう感じ。わかりますか？有名な理論です。と言う風に複雑怪奇になっていますから。それでどうですか？



エクアドルクティ

仏教徒に限らずお釈迦様の時代からずっと彫り続けている仏像

【参加者】

ネパールで仏教の人が仏像を作って売ります。ある人は仏教徒ではないのに、仏像を売ります。ヒンドゥーの人が市場で仏像を売っています。他の外国人は、仏教徒かどうか分かりません。でも本当の仏教徒かどうかどうやって分かりますか？

【水源師】

大体ネパールは仏教を信じる人が殆どいないです。仏教をやっているのは、チベット仏教のチベットの人かチベット仏教関係の人だけ。それでいっぱいその人達を知っています。カトマンズの近くの一つの村でそればかり作って、非常に上手に作ります。そして仏教をやっていないのだけれども、私は買います。買ってそこに仏の魂を入れます。その作る仏の顔でも一つ一つ違うのですよ。だからその中で一番良い、心の良い人の作ったものは非常に綺麗に出来ているから、仏教を信じていても信じていなくても、その村はお釈迦様の時代からずっとそれを作ってくれているから、ただ作っているわけじゃないわけです。ただ作れば変な形になって出来ません。だから信じてなくてもそれは良いのです、それは商売でも。インドネシアでも一緒。全然信じてないけれども私はその中で一番良い仏像とかそう言うのがあったら買います。買って魂を入れます。だから大丈夫です。ただその人が嘘をついてこれが100円のものを「100万円だ」と言って売りつけた場合にはあんまり良くない事があります。一生懸命売って、100円のものを500円とか、せいぜい1000円それは仕方ない。生活する為に高く売るのは食べなきゃいけないから。大丈夫です。でもタイでは、タイで出来た仏像は国外へ出さないのです。一つの仏像も出さない。タイで出来た仏像は全てタイに置いておきます。と言う風に仏像には不思議な力があって、又出来た仏像はお寺に持って行って拝んで貰います。そうすれば、良い事があります。

何故お釈迦様は家族を捨てて行ったのか？

【参加者】

分かりました。もう一つ分からない事があって、子供の時に勉強したのです。仏陀は結婚して子供が生まれてから、外に出て行ったと。どうして仏陀は家族を捨てて行ったのですか？

【水源師】

お釈迦様はいつも綺麗なお城の中でいつも若い人と住んで、お城の中はいつも花盛りで綺麗な天国みたいな所に住んでいたそうです。だから生まれながらにして、と言う病人も見た事もないし死んだ人も見た事もないし、いつも綺麗な事ばかり見て、宮殿にも沢山の素晴らしい美しい女性がいっぱいいて。何故そうしたかと言ったら、あるアストロゾーの高齢者の聖者が、生まれてくる王子様はこの世で最も尊い聖者が最高の大王の宿命です。それでお父さんがとても心配したわけです。自分の息子は世界の大王になることを願い、聖者の道を歩ませたくなかったのです。だからお父さんの夢は王子が王位を継いで世界の大王になって欲しかったわけです。いつでも外に出る時は綺麗な所ばかり見せるわけです。店でも何でも。でもある日門を出て行った時に、老人がいて年取っている人を見てびっくりしたわけです。病人も見て人間が病気になるという事も分かったわけ。それからお母さんが子供を生もうとして非常に苦

しんでいるわけ。で、もう一つ、北伝と南伝は違うわけですね。もう一人はお坊さんみたいな聖者が歩いているのを見たわけ。北伝では「生老病死」となっているでしょう？ちょっと違うわけですね。

【参加者】

インディラガンディと同じみたいです。

【水源師】

はい。それでいつも御釈迦様が悩んでいたわけ。「一体どういう事か？」と。人間は年を取って死ぬと言う事が分かった。「何故死ぬのか？」と。そう言う事で悩んで、悩んで。子供が出来なければこの王国が潰れるから、子供が出来ればお母さんが育てて給仕がいて立派に王国を継ぐはずだから、それで皆が寝ている時に出て行って全てを捨てて行者になって「人間は何故生まれて死ぬのか？」と。「一体どうして人間は苦しむのか？」と。と言う事で修行に行き、究極の本当の事を知りたい為に出て行ったわけです。

【参加者】

仏陀は人だったけど、後で神様になったのですか？

【水源師】

ゴータマは「この世に神というものはない」と。全て人間が神と言っても、神が又人間になったり人間が神に生まれ変わったりグルグル回るから、人間が考えている絶対の神があって、全てこの世は作られてコントロールされているとは言っていないわけです。だからヒンズーでもブラフマンが蟻さんになったりするでしょう？でもキリスト教の方では、絶対の神が全てを作ってこの世を作っていると。問題は、結局人間は一つの命で未来の命もない過去の命もない。ところが生まれて健康で立派な家に生まれて王様になる子と、生まれて足がなくて路上に捨てられる赤ちゃんがいると。そしたら「神様はどうしてこういう風な二つの人間を作るのか？」、に回答出来ない。神というのは全て良くて素晴らしいと。「じゃあ何故小さい子が生まれながらにして病気で、癌ですぐ死んで行くのか？」と。「もう一人は生まれて王宮に住んで、いつでも素晴らしい事が起こる」と。「もう一人の赤ちゃんは戦争の中で今死ぬかどうかと怖くて這いずり回る」と。「これはどういう事か？」と言う事で、「これはカルマの仕業である」と。カルマ（因果応報）。人間は生まれ生まれ、そして時には良い所へ行ったり、時には大変悪い所へ行ったり。お釈迦様は菩提樹の下で悟る時に、こう座った時にあの菩提樹で、今ここにありますよ（菩提樹の葉）。そしたら次から次と人々の映像が現れるのです、一人は綺麗な人一人は醜い人。自分の過去が映画を見る様に観えて来たわけです。その時にずーっと観て行って「どうして人間はこんなに苦しむのか？」と。生まれ、生まれ、苦しみ、苦しみ、苦しみ、苦しみ、苦しみ。そしてそれをずーっと観て行って、実はこれ

は全部自分が作り上げたものであると言う事を発見したわけです。作り上げるカルマを消してしまえば、もう二度とこういう苦しみから抜けられて絶対自由の大宇宙の中に生きる事が出来ると。

人間には「死」という事はないわけです。死ぬという事。ただ生まれ変わりはあります。ところが、西洋の方では神が作って神が命を与えてそして死ぬと。死んで地獄か天国。それだけ。一人は何故地獄に落ちる為に神が作ったのか。一人は何故天界に生まれる為に作ったのか、という根本回答がないわけです。お釈迦様は何故お城から出て行ったのか？と、そういう究極の回答を見つける為に、全世界の人達に新しい宇宙の光を与える為に出て行きました。そして私達は今こういうふうに素晴らしい法に触れて生かしてもらい、法に触れる事によって生死を越えるわけです。もう死ぬ事はないわけです。汚れきった世に生れる事もないわけです。永遠の自由を得る事が出来るわけです。と言う風に素晴らしい事をゴータマブッダは私達に贈り物をしてくれて、今でもちゃんと天界で観てくれています。

仏縁

【参加者】

後でちゃんと仏教の本を読んで勉強をすると分かりませんか？

【水源師】

はい、分かります。書いています。とっても楽しいですよ。仏教の本を読んだら。ジャータカ物語と言って過去のお釈迦様の500前世の話がいっぱい出ています。

【参加者】

夢を見た時にはCさんと結婚していなかったのですが、結婚5日前にネパールで待っていた時、夢で見たのです。誰か分からないけど、お爺さんがBさんと二人で「この服を着てください」と話しました。でもその意味がよく分からなかったのです。

【水源師】

その服はどの服？

【参加者】

お坊さんの黄色い服。

【水源師】

黄色？スリランカ。仏教の、なるほど。

【参加者】

私はその時は分からなかったのです。日本語が分からなかったので着てなかったのです。

【水源師】

仏の縁があるという事ですね。その夢で知らせがあったという事。そういう事です。そのお爺さんは年を取っていましたか？

【参加者】

死んでいたのです。仏教の人で死んでいた人がこれをかけたのです。

【水源師】

かけたのです。だから仏教のこれから新しい縁が出来るという事です。

【参加者】

その時、私の友達は仏教の町ルンビニに行きました。その時に夢で見たのです。

【水源師】

とても良い事です。

【参加者】

今は少し仏教の事を分かりました。ありがとうございます。

【水源師】

良かったですね。だから一生懸命勉強して、お釈迦様はネパールで生まれたからネパールに、法を伝えた方が良いでしょう。一生懸命勉強して本よりも一番大切なその法をネパールに持っていけば沢山の人が救われます。

【参加者】

私も先生と同じくになりたいです。どうやってなるか分かりません。

【水源師】

教えてあげます。ゆっくりゆっくりと。

お釈迦様とスジャータの乳粥の因縁

【参加者】

スジャータさんの乳粥はお釈迦様にとってのインターセプトカルマみたいなものだったのですか。

【水源師】

でしょうね、因縁で。スジャータ様が美味しいご飯を作ってくれなかったらどうなったか分からないと。ちょうどその時にいてお供えしたから、お釈迦様はその食べ物によって体力を回復して一夜にして成道したわけですね。悟りを開いたと。あなたも相当良い所まで行っているから頑張ってくださいね。

【参加者】

そうですか、ありがとうございます。

【水源師】

今回瞑想会でそれぞれ違いますけど、この方はカーヤヌパッサナーの非常に深い所まで行っていますから。それぞれの方向が違うのですけども。



全宇宙と一体化した時に初めて「宇宙は慈悲そのもの」と体得できる

【参加者】

心を観る時に、行動原理というか自分が考えたり、動く時に過去のもものが来てそれを掴んで動かされていると思うのですけども、さっきおっしゃったのですが「法を高めたら自由になれる」と。「完全に私って不自由だな」と言うのもあり、他者に対しても動物にも虫とか何でもそうなのですけど、それに囚われているというのが分かるというか。自動で動かされているというのがあって、いじめられなくなったというか。慈悲がそういうのが洞察出来るというか、ありありと分かる様になって。そうやって行った時に、例えば法をつかんだ時に、自分はそういう所から抜け出せて自由になれるのでしょうか？

【水源師】

なれます。何故かと言ったら「慈悲を感じた」と言う事は、慈悲は一体何か？と言う事がまだ明快に分かっていないから。それはねこの四つの法門の究極の所に行けば、それが明快に観えます。と言う事はこの宇宙自体は慈悲そのもの。慈悲。メッタ・カルーナのカルーナそのもの。観音様そのものと言う事が体験出来ます。だから頭で幾ら捻っても分からない。全宇宙と一体化した時に初めてそれが体得出来る様になっていますから。それはね、誰でも出来る鍵を持っているのですけれども。その鍵を見つけ出して開ければ観えるのだけれど、今その過程ですね。普通はその鍵もある事も分からないし、ドアのある事も分からないし、全く無明の世界で生きています。それが本当の愛です。キョトンとしていますね。観ないと分からないのですよ。体験しなきゃ意味が分からないけれども、世俗の言葉で言えばこうなります。

この話をスリランカにいる菩提樹のあるスリランカで最も高名な大学の教授に話したら「私はもう今年で大学の教鞭辞めます」と。「瞑想だけします」と。彼はすぐ分かったわけです。大学で幾ら仏教の経典を教えても意味がないと。この残る余生全てを捨てて瞑想だけで私の言った事を体得したいと。「あなたはいつスリランカに帰って来てくれますか？」って、帰って来てくれますかと言ったってね（笑）。未だに沢山の因果関係に縛られております。

法を掴めば国のカルマも変えることが出来る

【参加者】

その慈悲の関連で、今の世の中地球全体が戦争とかそれに巻きこまれて、人として動物とか生き物とか福島をなおざりにして、困っている人をなおざりにして、オリンピックとか安保法案とかどんどん政治が進んで行って、本当の慈悲とか人助けとかそういうところに行かない。どうしたら良いのでしょうか？

【水源師】

カルマっていうのは個人的なカルマ、大地のカルマ、国のカルマ、地球のカルマ、今の日本のカルマはそういうカルマだから、そのカルマを変える方法としては正法を掴めば変えるけれども、正法を掴まなければ、ますます暗黒になって行くから、あなた方が一人一人早く掴んで貰うのが日本を本当の意味で救う事になります。だからあなた方の責任は大変重大ですよ。掴めるチャンスがあるのです。いち早く掴めばこういう事も驚くほど早く一変にして変わってしまいます。そういう事をなくしては、ますます暗黒の時代に入って行きますよ。今チラッと聞いたけれど、今アメリカは内戦状態ですって。もうその危機まで来てもう始まっているけどね、分裂し始めて。だから日本は何にも分からない。内戦状態の国に後押しして、戦争法案を国民に問わずに《レフレンダム》決定したのでアメリカでは日本は無法の国と烙印を押しているのですが、今つい最近起こった北海の激戦でアメリカが壊滅して、どれだけの自衛隊の空軍のパイロットが死んだか分からないですよ。一切公表されていないけど。データとしては日本のジェット機がレーダーで通常の二倍飛んでいるから、何かが起こっているはずですよ。もちろんあなた方には責任はないですよ。でもそれを隠し通す大手メディアとか政治家、この人達の来世は因果応報で大変な事になります。全く馬鹿げた事をしていきますよ。

【参加者】

そういう法を求めて生活を我々が淡々と瞑想したりしていても、そういう人達からしたら関係なく、先生は「魔が来る」とかおっしゃるけども、攻撃的な目に会う可能性がありますよね、戦争とか始まったりとかして。そういう時にも基本的には慈経に書いてある様に、その人達に対して慈悲の心で接するという事が答えとして良いのですか？

【水源師】

その人達の受ける慈悲はずっと最後の方だね。それよりも、愛しているお母さん、兄弟、近所の人、良い事をしている人、最後の最後だからその慈悲が行くかどうか分からない（笑）。まずやる事は、身近な人に慈悲を送る事。だからそれだけで次半分、半分、半分と行ったらね、最後の最後だからもちろんあげるけれども、まああまりそれを最初に持って来られるわけないし、受ける理由もないし。そういう事です。それを自業自得と言いますよ。ところが、良い事をしている人はすぐあなたのそばに来て慈悲のエネルギーをたっぷり貰えと。

【参加者】

攻撃を受けた時に、どういうふうに対抗するのが正しいのか。

【水源師】

攻撃した時に、それから避けるのが一番良いけれども。どうにもならなければ、自分の生命体と他の人の生命体を守る為に、相手を防ぐとか相手を取り押さえるとか、最後にどうにもならない時は、もう魔だからね、狂犬だからね、もう狂っているから。

【参加者】

そこに法を説いても無意味じゃない、ですか？

【水源師】

その法をお釈迦様が説いたってキリスト様が説いたって殺されるのに、私達は力がないのにやったらどうなりますか？

【参加者】

つまり逃げるか、一番考えられるベストの事をやると。

【水源師】

逃げるか、防ぐか、もうしょうがないと。人を守る為にその時はその魔人の命を取る必要があります。

【参加者】

そういう事もあると。

【水源師】

もちろん、だから有名な話ですよ。お釈迦様が王様の時に素晴らしい瞑想をして偉いお坊さんに「私はあなたに一生こういう風に供養して来ましたが、どういう法を得ましたか？」と。「私はあなた（ゴータマブッダ）に供養されてとっても幸せです」と。「とってもありがたい」と。「これだけの栄光を受けて素晴らしい人生を送って誰よりも幸せになってありがとう」と。その時にゴータマブッダはバサッと切ったわけです。何故切ったかと言ったら「あなた、お坊さんは命を捨てて世間の為の法を説かなければいけないのに、ただ自分だけの法を説いた」と。お釈迦様は命を取ったから地獄に落ちるはずでしょう。それも高名なお坊さん。落ちたのはそのお坊さん。そのお坊さんは「何故地獄に落ちたか？」という事を地獄で考えたらしい（笑）。

【参加者】

殺生だからって事ではないのですね。

【水源師】

そうです。だからこの世の中で一番してはいけない事は、本当の法を曲げるという事。本当の法を曲げると言う事をやれば、お坊さんは法を伝えるのが使命なのに、法を曲げて自分の事ばかりやったから法を曲げた悪魔を退治したわけです。彼は魔人であってお坊さんじゃなかったわけです。だから魔人は地獄に落ちて行ったわけです。殺されて罰則されて判決が下ってそれでも済まないわけですよ。今度は死ぬ事がないから地獄で永遠の苦しみの判決を受けるわけです。だからこの世で良い事をすれば、皆から「この人は良い人だ」と。死んだ後は天界に生まれるか良い所に生まれ行くわけ。得々するわけ。ところが今みたいに人を騙し騙し一瞬の喜びと言うか、あのね、銀座の高級バーに行ったって面白くないですよ。本当に。帝国ホテルで大臣と一緒に食事をしたって素晴らしい事はないですよ。本当に余り意味のある事はない。だからそういう事に惑わされて、金儲け・金儲けとそういう事をして狂った場合には、本当に哀れとしか言い様がないね。特に聖職にある方が教えなきやいけない法を持ったと思われている方が、大臣と料亭に入って何か分かった様な、分からない様な、遊んで、人の前で今度は大きな台座に座って法要してみるとか。これは大変な因果応報お待ちしていますよ。それよりだったら山奥で、乞食で住んだ方がよっぽど平安。自分の食べるものをちょっと耕してそこらで、山菜採って、人がいれば宮沢賢治さんみたいにちょっとお手伝いに行ったりするとか。平安こそ、最高の生きる人生の知恵と思いますよ。何故かと言ったらね、私寝るのが大好きなのです。ぐっすり寝ると言う事は本当に気持ち良いですよ。

私達は内側の夢と外側の夢の中で生きている

【参加者】

夢っていうのはいわゆる阿頼耶識（アラヤシキ）とか、心の領域の中でどれぐらいの深度というか……。

【水源師】

その夢の過程によります。例えば夢の中で目覚めます。またその夢の中でまた目覚めます。でまたその夢の中で目覚めます。心の中で三回の夢の奥の中で夢を見ているわけです。だから人間は、私達は学問をして「深層心理学だ」とか言うけど、こういう事を現実に説いた学者はあまりいないでしょう？何故かと言ったら見ていないから、本当の意味で勉強していないから。だから、「阿頼耶識、深層」とか言っているけどね。それは簡単な事。何故分かるかと言ったら夢日記付けていけば良いだけ。そしたら夢の

中の自分がちゃんと分かるからね。「これは夢の中だ」と言ったら夢がぱっと消えます。それで夢が見られなくなります。夢が見えなくなつてね、時たま夢が見られます。それはお告げの夢。今度それは神元と言って神と一体化するから予言の夢を見ます。未来を見ます。

【参加者】

今日は朝、信じている人はお祈りをやってくださいと、私はしました。そして今日は朝、お母さんと一緒にお寺に行ったのです。そして私はお祈りしました。昼の休憩の時にお姉さんが泣いていました。お母さんは「泣かないで下さい」。私のお父さんに「泣かないで下さい」と話をしたのです。その時私は「どうして泣いているのですか？泣かないで下さい」話しました。「お父さん、どうして泣いていますか？」「お兄さんがblack magicが入っているかどうか分かりません」私は「泣いてないで下さい」と話しました。お姉さんはネパールの家族で初めてblack magicが入りました。その時に私のお父さんがヒンドゥーの神様をやめて教会に行つてなさいと話しをしました。私は昨日からやめたから今日は昼に寝ている時に夢を見たのです。お父さんが宗教を変えた後、私のお姉さんが最初にblack magicを話し出しました。だから今日は夢から見たのです。「お父さん泣いていないで下さい。どうして泣いているのですか」と。

【水源師】

お父さんが悲しんでいますね。死んだ後もあの世でね。と言うのはね、生命体は霊界と言うのがあるでしょう？今話しているのは霊界の事。お父さんは霊界にいてそこから見て泣いています。だから夢。私達は内側の夢と外の夢の中で生きているわけです。何故かと言ったら、この山もまた時代が変われば変わって行くわけです。だんだん変化して。大地も。それで雲も毎日変わっています。この量もね、私達の思いで出来ているわけです。思つて作つてこの部屋も。これもまた時代が変われば、全部変わつて全然形が違つて行くわけです。固いからね、現実と思うけど。これもまた夢の中。だからあと50年すれば全部夢の如く変わって行きます。ただ内側の夢は映像の様にすぐ夢、夢と分かるのだけでも、夢の中のあなたは本当に固くて本当の現実のその世の中。壁も破れないし、ドアがあつてドアから出て行かないし出て行けない。だから夢の中の夢の世界がちゃんとあります。それから私達の世界があるでしょう？夢の世界も現実であるし、私達のこの世界もまた同じく現実。どちらも現実で夢と現実は一体化しているわけです。だから夢の中で下手に変な事したら、変な事をしたというか、夢の中であっちの男、こっちの男って自由にする魔法もあります。そして夢の中でね、へんな時空に入ったら出て来られないです。誰かから助けて貰わなきゃそのドアが開かないのですよ。だからすんなり寝て仏に帰依していれば（良いのだけれど）、そういう変なものから引っ張られて牢獄みたいな所に入れられるのですよ。出られないのですよ。本当の話ですよ。だからあなた達は分からないわけ。この現実では牢獄に入っていないでしょう？寝たらそこに行くわけです。

【参加者】

寝るたびに？

【水源師】

そう。起きる時は分からない。

【参加者】

体が疲れていると悪い夢をよく見やすいと言うじゃないですか？それもそういった事と関係あるのですか？

【水源師】

それは働きすぎとかそういう事であるけども、それは実に巧妙でね、なかなかそういう現象を見せてくれないです。ただそれを見えるのは深い瞑想をしていけばそういう現象が「おかしいな」という事が分かるわけです。夢の中で「これは夢だ」という事まで分かるわけ。だから瞑想するという事は大変凄い力を持っていますよ。ところが殆どの方はそれが分からないわけです。本当に映画の様に、夜な夜なそういう牢獄に入って捕まっているわけですが、夢の中でその中で起き上がるわけ。一晩中そこにおいて帰って来てまたこの世の中に帰って来るわけです。だからね、どんなに権力があって王様であろうが政治家であろうが寝た時の彼の世界は何処に吹っ飛んでいるか分からないですよ。奴隷になっているか（笑）。また面白い話でしょう？これ現実の話ですよ。だからきちがいだと言われている人は実は気が狂ってなくて、その世界の行動をしているだけかも知りませんよ。ね、そうでしょう？そういう事はよくネパールで分かりますね？

【参加者】

はい。

【水源師】

と言うのはネパールとかそういう国ではあんまりメディアに感化されていないから、現実で見ているからそういう話をいっぱい聞きます。でも私達はメディアで本当にもうベールに隠されて、そういう事が見えない様になっています。見える人がいたら「おかしい」となる。「おかしい」と言われるから言わない。だから逆にそういう国の方が法に触れて知りたいと思えば進化が早いのですよ。サーッと行くわけですよ。そのまんま見るから。私達はメディアで頭のレンズが狂っているから、正しいことが悪く見えて、狂う社会が正常に見えます。

【参加者】

余計なものが入っていないと言う事ですか？

【水源師】

そうそう。擦りガラスですね。それが入っていないくて色眼鏡とか。ま、そういう事で今日もまた新しい不思議な話で。でもBさん、私の話はよく分かるでしょう？

【参加者】

分かります。

【水源師】

その通りでしょう？という体験をしているわけです。

夢の中でもカルマに発展する

【参加者】

夢の中で「夢だ」と気がついて、自由に空飛ぶなり美味しいものを食べたりする事が凄く良い修行だと法話集で読んだのですが、生駒山の法話集で。何故それが良い修行なのですか？

【水源師】

何故かと言ったらね、その夢の中で自由に行動出来るから。普通夢を見たらね、自分が「いやだなあ」と思ってもそれをしなきゃいけないわけでしょう。夢の中でお金があるわけですよ、金塊が。「ああこの金塊良い！」と。盗むでしょう？気持ち悪いよ。「はてよ？これやめておこう」と。それで覚めた時、いやー気持ちの良い事。私泥棒しなかったと。その事です。

【参加者】

それはまたカルマというか、発生するのですか？

【水源師】

発展しますよ。サンカーラ（行、形成作用）が出て来て、夢の中の世界でやってもまたサンカーラに発展します。だから夢の中の世界も現実の世界も同一化して、この大宇宙も小さい宇宙も物質の中に全部入ります。その事を私が言っているわけです。だから般若心経のここなのです。「是諸法空相不生不滅不垢不淨不増不減是故空中無色」心の事。もう一切合切、大きさ小ささ関係ない。汚れであろうが純粹であるかも関係な

いと。そう言う事が実は今言っている事なのですよ。何かこうパーンとバイブレーションが来て、分からないけどバイブレーションが来るでしょう？だから心が反応しているわけ。これが本当の事。ところがこういう事を実際、言わない様になっていますね。つまり法を持たずして人を説くから凄く恐ろしい事をしているという事です。もの凄く難しい言葉で、もの凄く分からない哲学で、グラグラグラ心理学で「分かったでしょう？」って言って「私、分からないです。頭痛い」。頭が痛くなっておしまい。だから現実の事をもって、こう説明すれば何か心に響くでしょう？

これが本当の実際の世界で、今度夢の中でね「面白い」って言って飛び回るわけですよ。でもやっぱり夢の中のそういう生き物があって捕まるわけです。捕まったらもう出られないです。夢の中の世界から夢の中の世界の街とかいっぱいあるわけです。その街の中に入って行くわけですよ。夢の中でずーっと自由に。自由だから山あり街あり谷ありで行けるでしょう？その時に守護神かエンジェルか誰かあなたをガイドする人がいなければ、その中で街の中に入って行って「これは変な生き物だ」と街の人が分かって捕まったらもう出られないですよ。だからそういう風な事を体験したいと思う人はその手法があるけども、必ずや素晴らしいエンジェルとかガイドがいなければ一人で行ったら大変な事になります。

【参加者】

それは観音様に帰依するとかそういう事なのですか？

【水源師】

観音様に帰依すればね、そういう冒険をしなくても良いし（笑）。私は何と云うか、こういう事を知らせる為にありとあらゆる体験させられるわけです。だからそういう世界もあるから「行かない方が良いでしょう」と忠告をしているわけ。体験しているから。だから心の世界というのは絶妙というか本当に映画の「マトリックス」というか夢の中のまた夢で。このトリックから出られるのは、お釈迦様の四つの法門のたった一つで良いわけですよ。持てば目覚めます。完全なる自由になります。それでそこから苦しんでいる人を助けられます。心の病とかそういう夢を見て苦しんでいる人とか、助ける事が出来ます。

【参加者】

ネパールで夢で見たのです。お爺さんとお婆さんを助けた夢を見たのです。そして後で「この夢はどうして見たんだろう？神様助けてください」とお祈りをしました。「私はどうしてこの夢を見たのですか。神様分かりますか？私は病気のお婆さんを助けた夢を見たのです。神様助けて下さい」と話しました。でもその時私は働いていなかったのです。後で本当にお婆さんが病気の人の中で仕事をしました。

【水源師】

予知ですね。予知の夢もあります。未来の夢も見ます。だから心というのは、本当に仏性というのは「神の元」と書きます。神元。だから仏に成道した時に完全に仏陀になった時に、ペチカ仏陀でもサンマサンブッダッサでも、完全に自由になってしまいます。それをニッバーナと言います。ニルバーナ。

良いですか？じゃあ、時間があんまりない人は今回は寝ないで修行してください。パオでも時には22時間寝ないで修行続行。バーンバーンバーンと。朝3時に起きて座ってダーツと。だからたった一日だからね、時間のあんまりない人は頑張って最後の私のインタビューしっかり受けて間違わない方向を掴んでください。良いですか？一生に一回だからね。この一日は100年以上に値しますからね。100年無駄に死ぬよりは一日しっかり数時間頑張ってみてください。お願い致します。



水源禪師法話集 4 7
(2015年9月22日 京都合宿5日目)

2016年8月19日 発行

編集兼発行 一乗禪の会